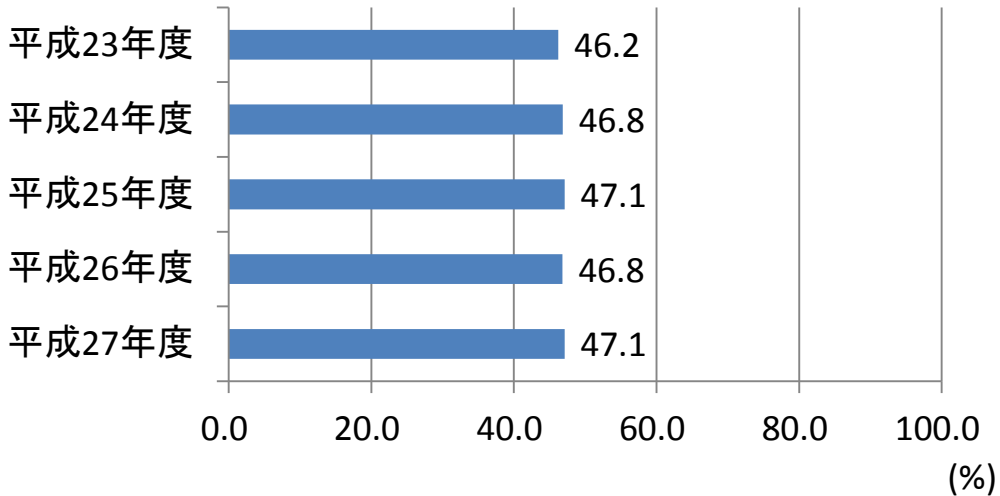


2 二次医療圏外からの外来患者の割合

解説	地域医療への貢献度を表す一つの指標であり、地域医療における「最後の砦」として国立大学病院が、いかに遠方の患者の診療も担っているかを示します。												
実績	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成23年度</td><td>46.2</td></tr><tr><td>平成24年度</td><td>46.8</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>47.1</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>46.8</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>47.1</td></tr></tbody></table>	年度	割合 (%)	平成23年度	46.2	平成24年度	46.8	平成25年度	47.1	平成26年度	46.8	平成27年度	47.1
年度	割合 (%)												
平成23年度	46.2												
平成24年度	46.8												
平成25年度	47.1												
平成26年度	46.8												
平成27年度	47.1												
定義	自施設の当該二次医療圏外に居住する外来患者の延べ数を外来患者延べ数で除した割合(%)です。二次医療圏とは、医療法第30条の3 第2項第1号及び第2号により規定された区域を指します。「外来患者」数は延べ数とし、住所の不明な患者は、二次医療圏内とします。												